

上智大学短期大学部英語科の入学者受入れの方針

英語科は、多様化する国際社会で多文化共生社会の実現に向け活躍できる人材を育成するために、様々な背景を持つ学生がともに学ぶことを教育方針にしており、多角的視点から学生を選抜する入試制度に取り組んでいます。

それぞれの入試種別において求める学生像及びそれにおける学力の三要素と関連した能力、審査方法は次のとおりです。

指定校制推薦入試 (2020年7月 変更後)

【目的】

出身高等学校と本学との架け橋となり、将来の入学者へ系譜を繋ぐ。本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を集める。

【求める学生像】

【基本像】高等学校において、英語及びその他の科目においてバランスのとれた基礎学力を有する者で、高等学校長が推薦する者。高等学校において、部活動や特別活動を通して自己を高め、それらの経験を通して本学における学生生活をさらに充実させ発展させていく意欲と資質、人柄を持つ者。

| | | |
|--|-------------------------|-----|
| 【知識・技能】英語で明確に自己紹介をするために必要な、基礎的英語の語彙、文法の知識、そして文構成の技能を持つ者。日本語で、課題として示される問題について論じるために必要な基礎知識を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。 | 【知識・技能】 | ☆☆ |
| 【思考力・判断力・表現力】英語で明確に自己表現することができる者。課題として示される問題について日本語で論じる際に、論理的に考え、扱うべき内容の重要性について適切な判断を行い、明確に自分の考えを表現する力を持つ者。志望理由において、自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。 | 【思考力・判断力・表現力】 | ☆☆☆ |
| 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】日本語での課題文において、与えられた問題について自己の意見を整理したうえで表現し、自分とは異なる他者の意見や立場に立って理解し尊重することができ、それらに自らの意見を結びつけ、問題理解の深化のため、建設的な議論ができる者。 | 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】 | ☆ |

【選考方法】

書類審査

課題審査（日本語での課題文。英語での自己紹介文）

指定校制推薦入試 (変更前)

【目的】

出身高等学校と本学との架け橋となり、将来の入学者へ系譜を繋ぐ。本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を集める。

【求める学生像】

【基本像】高等学校において、英語及びその他の科目においてバランスのとれた基礎学力を有する者で、高等学校長が推薦する者。高等学校において、部活動や特別活動を通して自己を高め、それらの経験を通して本学における学生生活をさらに充実させ発展させていく意欲と資質、人柄を持つ者。

| | | |
|---|-------------------------|-----|
| 【知識・技能】英語で簡潔かつ明確に自己紹介をし、それに関する質問に答える際に必要な基礎的英語の語彙、文法、文構成及び発話技能を持つ者。日本語で、面接の課題として示される問題について議論する際に必要な基礎知識を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。 | 【知識・技能】 | ☆ |
| 【思考力・判断力・表現力】英語で明確に自己表現することができる者。面接の課題として示される問題について日本語で議論する際に、論理的に考え、発言すべき内容の重要性について適切な判断を行い、明確に自分の考えを表現する力を持つ者。志望理由において、自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。 | 【思考力・判断力・表現力】 | ☆☆ |
| 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】日本語での議論において、与えられた問題について自己の意見を整理したうえで表現し、自分とは異なる他者の意見や立場に立って理解し尊重することができ、それらに自らの意見を結びつけ、問題理解の深化のため、他者との建設的な議論ができる者。 | 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】 | ☆☆☆ |

【選考方法】

書類審査

グループ面接(ディスカッション形式。一部英語での自己紹介とそれにかかわる質疑応答も含む)